

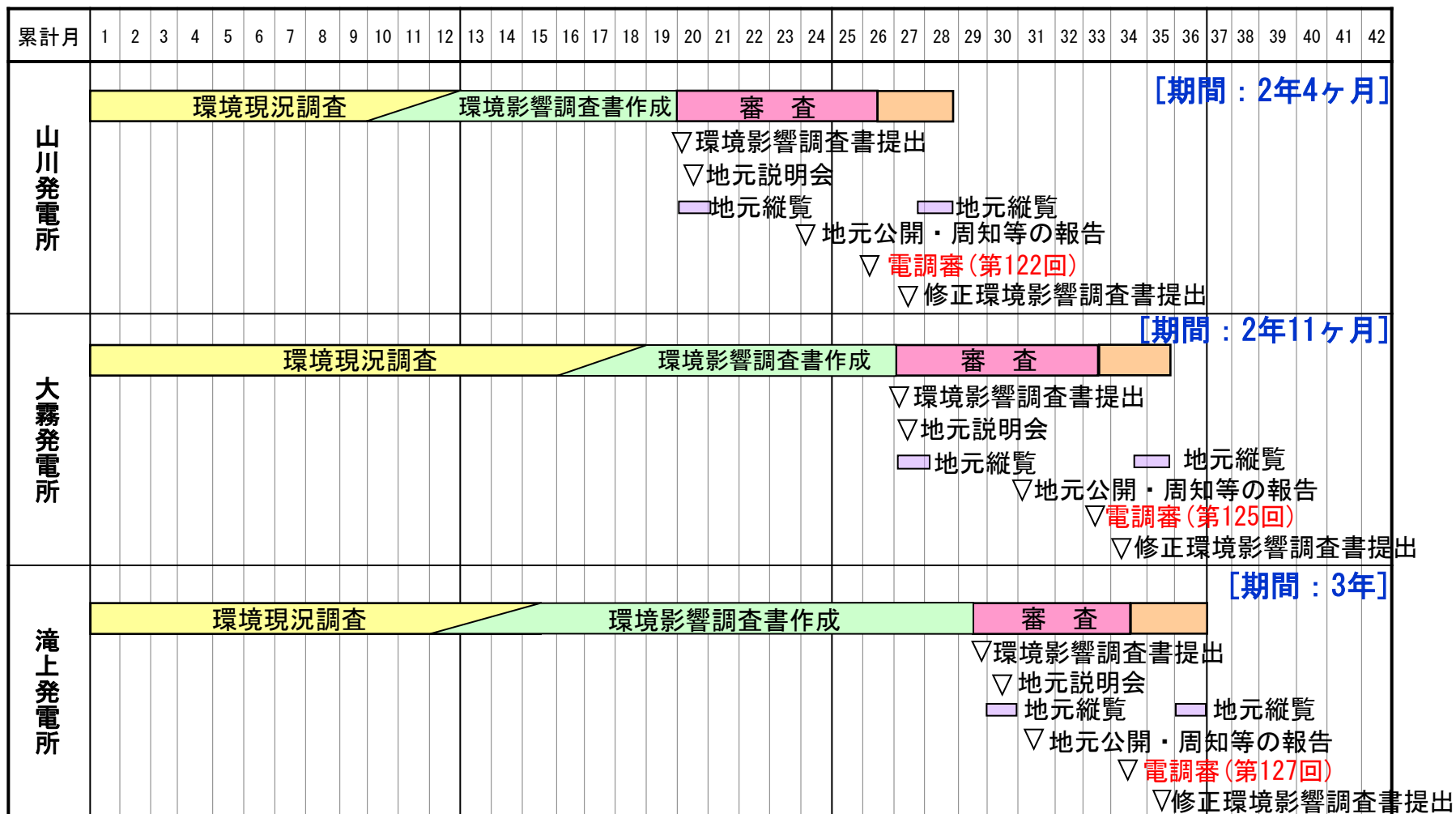
第4回  
発電所設置の際の環境アセスメントの迅速化等に関する  
連絡会議資料

平成24年10月15日  
九州電力株式会社

# 1. 当社の地熱発電の概要

発電所名	所在地	出力	発電方式	運転開始	発電部門 蒸気供給部門	環境アセス
大岳	大分県九重町	12.5MW	シングルフラッシュ	昭和42年8月	九州電力(株)	—
八丁原	大分県九重町	55MW	ダブルフラッシュ	昭和52年6月	九州電力(株)	—
		55MW		平成2年6月		省議アセス
山川	鹿児島県指宿市	30MW	シングルフラッシュ	平成7年3月	九州電力(株) <small>(蒸気設備については、H17年に九州地熱(株)から譲受)</small>	省議アセス
大霧	鹿児島県霧島市	30MW	シングルフラッシュ	平成8年3月	九州電力(株) 日鉄鹿児島地熱(株)	省議アセス
滝上	大分県九重町	27.5MW	シングルフラッシュ	平成8年11月	九州電力(株) 出光大分地熱(株)	省議アセス
八丁原 バイナリー	大分県九重町	2MW	バイナリー	平成18年4月	九州電力(株)	対象外

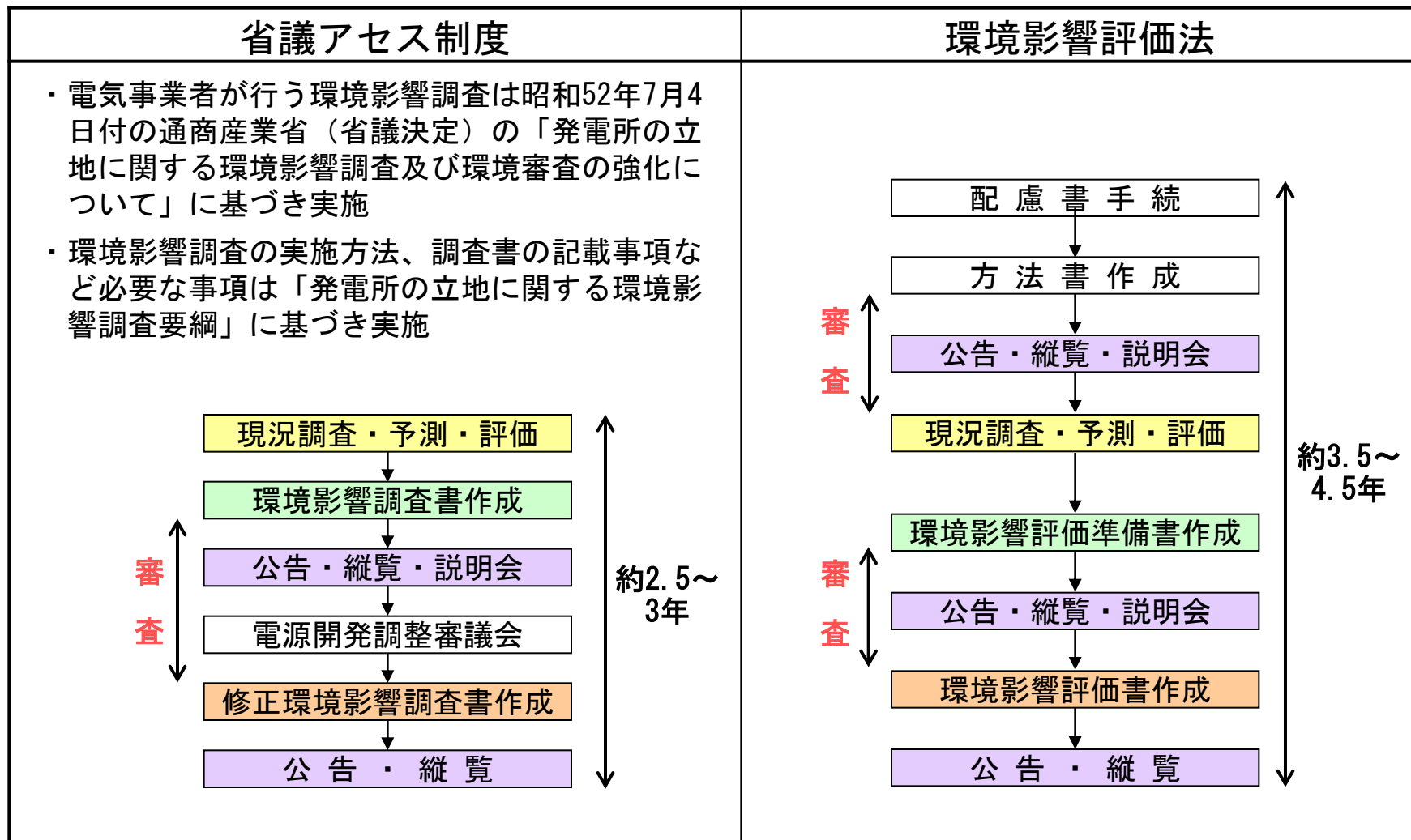
## 2. 当社の地熱発電所省議アセス実績例



- ・ 従来のアセス手続きにおいて、国、自治体、地元住民と十分合意形成が図られていること及び環境保全対策に万全を期しており、運転開始後の周辺環境への影響は認められていないことから、特段の問題は生じていない

### 3. 環境影響評価手続きフロー

- ・ 省議アセス期間は約2.5～3年程度、環境影響評価法改正（H25.4施行）による配慮書手続きが入ると約3.5～4.5年程度の期間を要する



## 4. 環境アセスメント期間の迅速化に向けた方策（共通事項）

### (1) 審査期間の短縮

#### ◆国における審査期間の短縮

- 方法書、準備書届出後、早期に現地視察や環境審査顧問会を実施
- 自治体審査と並行して省庁間調整を実施することによる環境大臣意見の早期提出及び省庁間調整の短縮化

#### ◆関係自治体における審査期間の短縮

- 方法書、準備書送付直後に自治体（県、市町村）審査を開始し、早期の市町村長、県知事意見の提出

### (2) 調査期間の短縮

#### ◆現況調査の前倒し実施

##### <前提条件>

審査時の手戻りリスクを回避するために、

- 事業のケース毎に応じた環境影響評価項目・手法の選定基準等の明確化
- 近接する発電所、公共データ等既存データの活用基準の明確化

## 5. 地熱に関する環境アセスメント迅速化に向けた方策

### (1) 配慮書手続きの省略・簡略化

- ◆ 単一案とならざるを得ない場合に、手続きを省略又は簡略化
  - 地熱開発では、資源（蒸気、熱水）の調査を実施し、その規模、特性、経済性を勘案して発電所の仕様（規模・方式）を決定するものである
  - また、発電所位置は、蒸気、熱水を遠方へ輸送できないために限定される
  - さらに、地熱井の位置が固定されることから各種設備の配置についても限定的となる
  - 地熱資源（蒸気、熱水）調査の段階から地元自治体や温泉事業者等へ説明してきており、発電所立地に関する地元合意は得られている

### (2) E I A 調査・予測・評価手法の合理化、迅速化

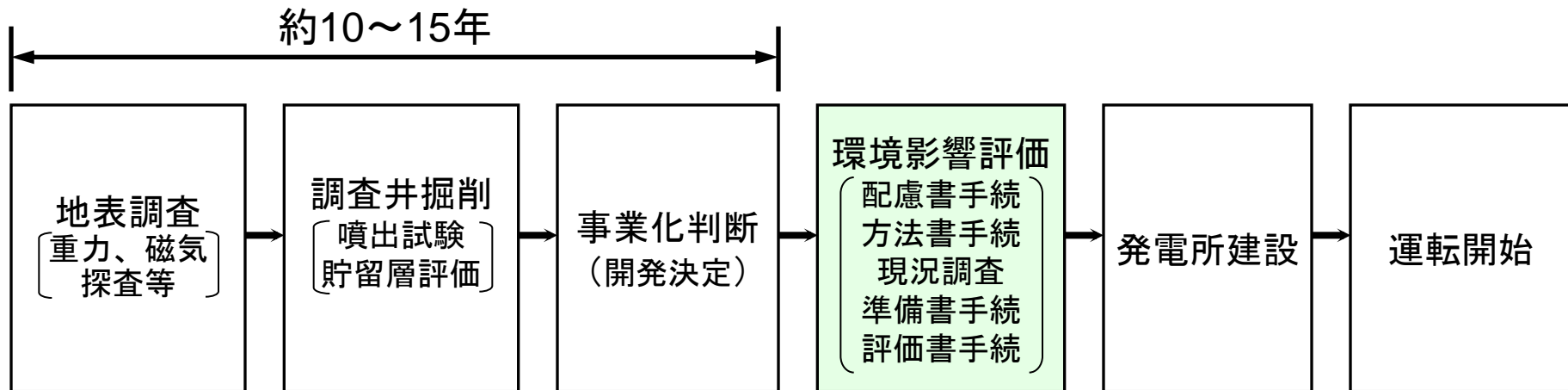
- ◆ 地熱資源（蒸気、熱水）調査期間を活用した現況調査の前倒し実施の容認
  - 事業のケース毎に応じた環境影響評価項目・手法の選定基準等の明確化
- ◆ 地熱資源（蒸気、熱水）調査時の周辺温泉モニタリングデータ等の有効活用
- ◆ 風洞実験を代替できる複雑地形を考慮した数値計算モデルの早期開発
- ◆ 稀少猛禽類の調査手法の簡略化
  - （有望地域が山岳地帯に多く稀少猛禽類の生息可能性が高い）
  - 環境保全措置を適切に行うための合理的な調査手法の検討
    - ・ 事業実施区域と行動圏との位置関係に応じた詳細調査の限定化など
- ◆ 環境省が整備する環境基礎情報を活用

## 5. 地熱に関する環境アセスメント迅速化に向けた方策

### (3) 地熱リプレースのアセス簡素化・迅速化

- ◆地熱リプレースにおいても火力リプレースと同様に、アセスの簡素化・迅速化が可能と考える(配慮書手続きやE I A調査・予測評価の省略又は簡素化など)
  - 土地改変による環境影響が限定的で環境負荷が同程度以下のケースもあり得る
  - 既に地元合意が十分得られている
- ◆新設工事に先立ち実施する撤去工事をアセスの対象外とする
- ◆既存のモニタリングデータがある場合には調査・予測評価の省略又は簡略化などの合理化が図れる
  - 硫化水素、温泉、地盤変動予測評価の省略又は簡略化など

# (参考) 地熱開発フロー



〔温泉調査は地元合意のもと実施、  
希少猛禽類等の調査は実施する  
場合がある〕